

福島県に輝く人と未来と文化スポーツのために

- 西田記念館が20周年を迎える 初代館長 渡邊 格 2
- 東邦銀行 教育・文化財団の活動 3
- 助成金交付先対象団体と活動 (平成27年度上期文化・スポーツ活動ほか) 奨学金事業について
- 原郷のこけし群 西田記念館の展示 (報告/案内) 4
- かがやく FLASH 平成26年度上期助成団体の活動から 6
- 福島県スポーツチャンバラ協会/尺八広場がいや/黒岩春日神社雅楽部 SPOTLIGHT TALK
- 「県立郡山商業高等学校チアリーディング同好会」(郡山市) 8



県立会津農林高等学校
早乙女踊り保存クラブ
(平成27年度助成)



県立郡山商業高等学校
チアリーディング同好会*
(平成27年度助成)

◀発足2年目で
POM部門第1位の快挙!



◀富岡町仮設住宅の「夏まつり」で、「私たちの踊りが少しでも元気づけになって、笑顔になっていただければと思って活動しています」



県立好間高等学校
フラダンス同好会
「ウイラニ・オーラバ」
(平成26年度助成)



SPOTLIGHT 輝く自主性・独自性を支援!

東邦銀行教育・文化財団は、昨年から新たに二つの文化・教育活動助成を創設、実施しています。その一つが、震災復興の原動力ともなっていく高校生たちの自主性と独自性がかがやく活動への助成で、昨年は県立好間高等学校フラダンス同好会「ウイラニ・オーラバ」ほか2校3団体の活動を助成しました。今年度は、県立郡山商業高等学校チアリーディング同好会*、県立会津農林高等学校早乙女踊り保存クラブ、国立福島工業高等専門学校分子生物学愛好会(ロボット製作)に助成を行います。

*8ページ SPOTLIGHT TALK で紹介しています。

公益財団法人 東邦銀行 教育・文化財団
http://www.tohobankkyoikubunka.jp/

平成27年度 高校生対象の文化・教育活動助成

県立郡山商業高等学校 チアリーディング同好会



平成26年5月、それまで野球部がリードして行っていた県高校総体出場選手壮行会で華やかなチアリーディングを印象づけた



「ほんとに高校で部活はやらないうつもりだったんです」と部長の深谷沙紀さん

1年生だけでスタート、2年目で部門1位の快挙!

「県立富岡高校に赴任していた時にチアリーディングの立ち上げを託され、その魅力を知りました」と、顧問の横田日夏教諭(家庭科)。郡山商業高校に赴任してからずっと、その機をうかがっていたらしい。受け持っていた家庭研究部の1年生の中に、気持ちのいい動きを見せる生徒がいた。声をかけてみるとすぐに動いてくれた。友だちに声をかけ、間もなく10人を集めてきた。同好会活動の学校規定は10人以上。よしよし!

平成25年6月20日、同校初のチアリーディング活動がスタートした。部長をつとめることになったのが、メンバーを集めてきた深谷沙紀さんだった。

動きの良さはその後が変わらない。7月には校内発表し、夏の高校野球大会の応援に飛び出してゆく。また8月には、三春町熊耳地区の富岡町仮設住宅を訪ねての地域活動も開始。そして初めて後輩を迎えて臨んだ昨年の8月、全国高等学校ダンスドリル選手権大会に初挑戦すると、上達めざましいチームに贈られる特別賞 Most Improve Team を受賞。その勢いに乗ってやはり初挑戦した冬季大会(平成27年1月)

では、POM部門第1位という快挙を成し遂げてしまった。「私たちにすれば凄いことで大喜びなんです。上には上がいます。頂点である総合優勝というところから見たら、まだまだ」と冷静な横田さん。「これがみんなの励みになつてさらに上を目指していければ」と、深谷さんも自覚していた。

踊りながら応援して感じた一体感を支え合いの力に!

チアリーディングは応援の表現だ。春夏の野球、秋のサッカーの応援が一番の力の入れどころ。「応援はただ見るよりも、踊りながら見るととても楽しいんです。一緒に闘っているという一体感が感じられて」と深谷さん。が、それ以上に同好会活動自体に大きな充実感を感じているようだ。「同好会をやったおかげで人間的な成長がたくさんできました。仲間がいること、その仲間同士で支え合いながら目標を目指し達成する充実感、高校に入るまではなかった経験です。ここで初めてそういう経験ができました」。

そんな活動を見守り、喜んでくれる周囲の応援に感謝している。「先輩がいない中で始めたので、最初は何もできなかった。でも先生や友だちの部活の先輩などから、こうすればもっとうまくやれるんじゃないかなどアドバイスをもらいました。周りの友だちがたくさん応援してくれたので、なんとか形になつてきたんです」。

3年目の夏に向かつてチャレンジの伝統を伸ばす

最終学年を迎える深谷さんたち発足メンバー。今年の目標は?

「今は夏の大会に向けて練習しています。私たちにそれが最後の大会になります。結果を残したいという気持ちはもちろんありますが、最後の最後まで今のメンバーと楽しくやれたらいいなと思っています」。

「本当に深谷さんたちからの始まりです。からね。組織を立ち上げるころから、彼女たちは頑張ってくれた。女子だけということではいろいろと大変な中、自分たちで決めていった。新入生を迎えてどうかかと思っていたら、後輩の面倒も一所懸命にみて、組織的な結束をつくり上げてくれた。本当に凄いなと思っています」と横田さん。みんなで話し合う、そのタイミングの良さが印象的だったようだ。「下級生もその姿を見て、新しい伝統というものにつながっていく、いいなと思っています」。



編集後記

原郷のこけし群西田記念館は、おかげさまで今年20周年を迎えます(平成7年4月設立)。こけし界の重鎮・西田峯吉氏の貴重な蒐集コレクションを中心にこけし博物館としては、日本最大級の施設です。

20周年記念として数多くの企画、コンサート等の催しを予定しておりますので、デスティネーションキャンペーン(4月~6月)と併せて多くの皆様のご来館をお待ちしております。(KK)

かがやく © 平成27年4月10日発行

発行所 公益財団法人 東邦銀行 教育・文化財団
http://www.tohobankkyoikubunka.jp/
〒960-8041 福島市大町4-4
電話 024-523-5882 FAX 024-523-3265

発行人 鹿野 幸一 ©東邦銀行 教育・文化財団
制作 株式会社 進和クリエイティブセンター
印刷 株式会社 日進堂印刷所

西田記念館が 二〇周年を迎える

西田峯吉、小林昇両氏の
ご尽力



こけし受贈が決まる (H5.7.2 西田家にて)

平成四年三月、立教・福島両大学名誉教授の小林昇先生の立ち会いで、こけし界の重鎮・西田峯吉氏と東

邦銀行のこけし受贈の話し合いがもたれた。翌五年四月に東邦銀行文化財団が発足して、西田氏のコレクションの寄贈が実現した。こうして平成七年四月に開館した「原郷のこけし群西田記念館」は、今年二〇周年を迎えることになる。

方の生活に根ざした民芸品として、こけしの蒐集とその背景の研究、また「東京こけし友の会」の会長として、長年にわたり啓蒙発展に尽くしてこられた。一方の小林昇先生は、昭和一五年から昭和三〇年までの福島高等商業学校・福島大学時代の思い出としてこけしに親しんでおられた。西田氏のこけしに対する姿勢を評価して、コレクションや研究成果の出版を勧奨するなど信頼関係を深めておられた。その先生のご紹介で、こけし界の貴重なコレクションの福島への寄贈が実現したのである。

オープンのことと 西田記念館の現在

西田記念館がオープンした平成七年は「ふくしま国体」が開催された年であり、ご来館された常陸宮ご夫妻が、お出迎えの学習院大学時代のご学友である西



西田氏を恩人と述懐していた鳴子の遊佐福寿工人のこけしと筆者

初代館長
渡邊 格

田峯吉氏ご子息夫妻と親しくお言葉を交わされたことなどが思い出される。以来、年三回の企画展は東北各地のこけし館には珍しく、この三月で六〇回を数えた。この施設を利用しての若手の工人の作品発表などこけしの普及啓もう、またピアノコンサートなど、果たした役割は大きい。



鳴子の全国こけし祭り審査する西田氏 (H3.8.2)

西田記念館は東邦銀行の創立五〇周年記念事業として、地域貢献策として設立された文化財団（現教育・文化財団）の一事業である。立地する福島市荒井地区はこけしの三大発祥地の一つともいわれる土湯温泉に近い。オープン当時は寂しい高台だった地域が、西田記念館の開館を機に福島でも有数の賑わいのエリアとなった。

そうした発展を願っておられた西田氏、小林先生はじめご寄贈の先生方は故人となられ残念である。小生は東邦銀行のOB、また福島大学の卒業生として、蒐集したこけしとともにこの原郷のこけし群西田記念館に関わることのできた幸せを思い、万感胸に迫るものがある。

観光とまちづくりに

こけし群（私たちが心の故郷に誘うこけしたち）なのである。

TOPICS 助成金交付先対象団体と活動

東邦銀行教育・文化財団の助成金交付先対象団体について、1. 平成27年度上期文化・スポーツ活動（平成27年4月から平成27年9月までの期間に実施予定の文化・スポーツ活動）は次の19団体（助成金額200万円）、2. 地域の活性化に貢献する文化活動は次の2団体（助成金額20万円）、3. 高校生対象の文化・教育研究活動は次の3団体（助成金額30万円）に決定しました。（助成金総額250万円）

団体名	助成対象活動名	開催日・開催場所
春奏の会(福島市)	春奏2015 第22回箏曲演奏会	H27. 4. 4 (土) 県文化センター小ホール
はあもあまら(伊達郡)	「はあもあまらコンサート～結成5周年を記念して～」	H27. 7. 12(日) こむこむ わいわいホール
尺八広場がいや(郡山市)	第8回箏と尺八で地歌箏曲を楽しむ会	H27. 8. 2 (日) 郡山市公会堂
表郷戦争回顧展実行委員会(白河市)	戦争を後世に伝えるための調査記録作成、戦争回顧展	H27. 4～9月の期間 表郷多目的研修センター他
いわきビッグバンドジャズフェス実行委員会(いわき市)	いわきビッグバンドジャズフェス'2015'	H27. 6. 28(日) いわき産業創造館 企画展示ホール
優しく歌おうコスモスの会(いわき市)	創立25周年記念依田喜美子さんと歌おう	H27. 4. 11 (土) いわき市芸術文化交流館アリオス
いわきハルモニアオーケスタ(いわき市)	いわきハルモニアオーケスタ第1回定期演奏会	H27. 4. 26(日) いわき市文化センター 大ホール
ITPいわき演劇プロジェクト(いわき市)	ITPいわき演劇プロジェクト俳優養成塾公演	H27. 5. 16(土)・5. 17(日) いわき芸術文化交流館アリオス
福島ブルードラゴンズスポーツ少年団(福島市)	福島ブルードラゴンズスポーツ少年団創立10周年記念大会	H27. 9. 19(土)・9. 20(日) 保原大泉球場他
愛誠サッカースポーツ少年団(福島市)	愛誠SSS 30周年記念大会	H27. 7. 20(月) 祝日 十六沼運動公園
福島県スポーツチャンバラ協会(伊達市)	第68回福島県総合体育大会 第18回スポーツチャンバラ選手権大会	H27. 7. 5 (日) 福島市国体記念体育館
川俣ジュニアフレンズスポーツ少年団(伊達郡)	川俣ジュニアフレンズスポーツ少年団 結成40周年記念ソフトボール大会	H27. 6. 20(土) 伊達市月館運動場
福田スポーツ少年団(伊達郡)	福田スポ少「第3回コスミンカップソフトボール大会」	H27. 5. 4 (月) 祝日 伊達市月館農村広場
清水剣友スポーツ少年団(福島市)	設立50周年記念 清水剣友スポーツ少年団近県錬成剣道大会	H27. 9. 6 (日) 福島市国体記念体育館
油井スポーツ少年団(二本松市)	油井スポーツ少年団創立40周年記念ソフトボール大会	H27. 8. 29(土) 二本松市城山総合グラウンド他
須賀川剣道連盟少年部後援会(須賀川市)	第40回牡丹杯剣道大会	H27. 4. 29(水) 祝日 須賀川アリーナ
福島県障害者フライングディスク協会(郡山市)	第16回福島県障がい者フライングディスク大会	H27. 9. 6 (日) 田村市陸上競技場
須賀川東ミニバスケットボールスポーツ少年団(須賀川市)	第5回「たかしカップ」ミニバスケットボール大会	H27. 8. 29(土)・8. 30(日) 須賀川アリーナ他
好間第一スポーツ少年団(いわき市)	好間第一スポーツ少年団 結成40周年記念ソフトボール大会	H27. 9. 20(日) いわき市好間多目的グラウンド他

団体名	助成対象活動の内容	活動場所
下町子供手踊り保存会(南相馬市)	今年も地元御子神社例祭奉納、仮設住宅や特老等で披露し、伝統芸能の保存と伝承、後継者の育成。	毎年地元御子神社例祭奉納、各民俗芸能発表会へ出演。
請戸芸能保存会(浪江町)	獅子舞・田植え踊りの奉納、県内の仮設において披露。避難生活をしてるお年寄り達を子供の手踊りで元気づける活動。	請戸の田植え踊り・請戸の獅子舞を県内外にて8回出演披露。

団体名	助成対象活動の内容	活動場所
県立郡山商業高等学校チアリーディング同好会	部活動の試合の応援、壮行会での応援 各種イベント出演各ダンスドリル大会出場。	郡山市内を中心
県立会津農林高等学校早乙女踊り保存クラブ	後継者不足により御田植祭で休止していた「早乙女踊り」を継承し活動。	会津坂下町を中心
福島工業高等専門学校分子生物学愛好会	知能ロボットの開発と製作、及びロボットコンテストへの参加。	福島高専他

TOPICS 「平成28年度新規奨学生」の募集について

- 「募集期間」は5月～6月です（募集開始時に発表）。
- 「願書・推薦調書等の必要書類」は県内の各高等学校校長宛送付いたします。
- ### ● 募集内容
1. 応募資格
 - 次の各号の要件に該当する方
 - (1) 福島県内所在の高等学校を卒業予定の方で、学校教育法に定める大学のうち、**4年生以上の大学に進学を希望する方**
 - (2) 学業優秀、心身健全、品行方正である方
 - (3) 経済的理由のため修学が困難であると認められること
 - (4) 福島県内に居住し、生計を維持する保護者の子弟であること
 - (5) 在学する**高等学校校長の推薦**を得られる方
 2. 奨学金の給付額（返済の義務はありません）
 - ※なお、他の奨学金制度との併用も可能です。
 3. 奨学金の給付期間 入学後4年間
 4. 採用予定数 15名
 5. 選考および決定通知
 - (1) 当財団規定により審査委員会の選考を経て理事会において決定（内定）します。決定後速やかに在学する高等学校長経由で本人あて通知します。
 - (2) 入学後**大学の在学証明書の提出**により確認し、正式採用者と決定します。
- ★お問い合わせは…
公益財団法人東邦銀行教育・文化財団 事務局奨学金担当
TEL 02445235882



原郷のほほえみ
原郷のこけし群 西田記念館
福島市荒井字横塚 3-183 (アンナガーデン)
TEL 024-593-0639 / FAX 024-593-0811
http://nishidakinenkan.or.jp/

企画展報告 ■平成26年8月～平成27年1月

「鳴子こけしの町の魅力」

展示室風景



こけしというと鳴子をイメージする人が多いでしょう。それほど鳴子はたくさんこけしが作られ、こけし産地として広く浸透しているのかもしれない。また、鳴子こけしは親しみやすい作風が多く、一般から愛好家まで広く受け入れられます。均整がとれた形や、清楚で純情な風土を感じさせる姿は鳴子こけしの魅力と言われます。

鳴子はいつ訪ねても土産物屋の店先にこけしが並び、工房からはこけしを挽くロクロの音が聞こえてきます。温泉街ではこけしデザインの看板や電話ボックス、マンホールなども見られ、たくさんこけしたちに出会えます。鳴子はこけしを大切な文化的・観光的財産として育成してきたため、戦後のこけし人気の高まりと共にこけしの町として発展してきました。今回の企画展では、古作こけしを中心に鳴子の歴史や魅力を紹介しました。

■全国こけし祭り
毎年9月に鳴子で開催される「全国こけし祭り」は各地のこけし祭りの中でも最も歴史が古く、昨年は60回目となる記念の年でした。現在、こけし祭りは土湯、白石、山形など多くの産地で行われていますが、鳴子のこけし祭りはその中でも最も古い歴史があります。昭和23年に開催された鳴子のこけし祭りは、工人の技術研鑽や工人と愛好家たちの交流の場として発展してゆき、伝統こけしの魅力を多くの人に紹介しています。

■鳴子木地業とこけし

鳴子木地業はいつ始まったか分かっていませんが、安永2年(1773)の『仙台藩風土記御用書出』によると、鳴子の産物として「鳴子のぬりもの」と「鳴子の木地挽もの」という記載が見られ、江戸時代には漆器と木地業が行われていたことが分かっています。また、文政10年(1827)の『浴陸奥温泉記』では「木地引きあり。漆器をひさぐ(売る)店多し。」とあり、この頃には多くの木地挽きと漆器の店があった様子がうかがわれます。

鳴子で木地業と漆器が発展し

大沼竹雄



たのは、森林資源が非常に豊富だったことや、温泉地として開けていたため漆器や木地玩具の需要があったこと、雪に閉ざされる冬期間が長く家内工業をする時間を持てたことなどがありま

す。き技術を学んだことに始まりま

弘化3年(1846)、源蔵湯(現在の鳴子観光ホテル)の入婿となった大沼又五郎は小田原の木地師から木地挽きを学び、木地玩具やこけしを作りました。この頃は湯治文化が広まり、温泉土産として木地玩具の需要が高まっていたため、又五郎のもとには技術を習得すべく多くの弟子が集まりました。現在の鳴子こけしは又五郎の弟子たちの流れが中心となって発展し、多くの工人が伝統を受け継いでいます。

■深澤要と鳴子

こけし蒐集・研究家で詩人、童話作家でもある深澤要(1904-1947)は「こけしは鳴子に始まり鳴子に終わる」と述べてい

ます。深澤要はこけしに対して限らない愛情を持っていた人で、鳴子へは特に深い愛着がありました。また、当時の収集家としては珍しく直接産地に行つてこけしを集めた人で、昭和初期の交通事情の悪いなか多く



高野まつよ 鈴木庸吉



高橋勲治一家

の産地を訪れました。こけしに関する著書も出版しており、著書『こけしの追及』からは「こけし博物館」や「こけし歌碑」建設の夢を描いていたことが分かっています。深澤は夢を抱いたまま昭和22年42歳の若さで他界しましたが、その夢は遺志を継いだ人々の尽力により鳴子の地で実現されていきました。

まず、昭和23年鳴子の温泉神社の前にこけし歌碑が建立され、除幕式が行われました。歌碑には深澤の著書『奥羽旅情』より抜粋された歌「みちのくは 遙かなれども 夢にまでこころの山山 こころのこけし」が刻まれています。この除幕式と同時に第1回のこけし祭りを

開催することとなり、その後鳴子こけしを発展させていくことになりました。

また、昭和28年、深澤要のこけしコレクションが遺族から旧鳴子町へ寄贈されました。寄贈後しばらく、深澤コレクションは鳴子町役場に保管されていました。が、より環境の良い場所での保管・展示が求められるようになり、徐々にこけし博物館実現に向けて動き出しました。そして昭和50年、初のこけし専門展示館として鳴子に「日本こけし館」が開館し、現在も多くの人が訪れています。

開催中の展示

西田記念館開館20周年記念特別展
「西田峯吉のこけし界への功績」
7月31日(金)まで

西田記念館は東北の風土とこけしを愛した西田峯吉の愛蔵こけしを愛した西田峯吉の愛蔵こけしと資料を展示する記念館として平成7年4月に開館し、おかげさまで今年開館20周年を迎えました。今回の企画展はこれを記念し、西田峯吉の功績を振り返りながら当館開館までの様子を紹介いたします。

《開催予定》

木地玩具「コーナー」
「美輪展限定セット展」
4月23日(木)～8月25日(火)
1階 常設展示室

美輪展とは、伝統こけし若手工人の親睦と創作意欲の高揚につとめるため平成3年に発足した会です。この会による展示会は毎年7月に当館を会場に開催され、各地の伝統こけしや木地玩具など様々な作品が展示即売されます。今回の展示会では、毎年美輪展で販売される限定セットを紹介いたします。



高橋武蔵

東邦銀行教育・文化財団では、平成27年10月から同28年3月までの期間内に活動計画がある「文化・スポーツ団体」を対象に、平成27年5月1日～6月30日まで助成申請の受付を行う予定です。
 ▶詳しくは当財団のホームページの「助成事業 | 文化・スポーツ活動団体への支援」をご覧ください。事務局 ☎(024)523-5882 までご照会ください。

文化・スポーツ活動
平成26年度上期助成団体
「スポーツ部門」

福島県スポーツチャンバラ協会 (伊達市)
第67回福島県総合体育大会
第17回福島県スポーツチャンバラ選手権大会

平成26年7月6日(日)・福島市国体記念体育館(福島市)

スポーツチャンバラって
何だかわかりますか？

手にスポンジや空気の入った袋でできた剣を持ち、互いに打ち合う競技です。

大会は、「幼年年中」「幼年年長」「小学1・2生」「小学3・4生」「小学5・6生」「中学生」「一般女子」「一般男子」「団体戦」の各部門ごとに、



小太刀、長剣、小太刀二刀、長剣二刀、合戦などのカテゴリーごとに試合が行われました。また各カテゴリーの勝者による「グランドチャンピオン戦」は「少年の部」と「一般の部」が行われました。

県内から参加した選手は約170人。選手たちはその数の多さに驚き戸惑いを感じたものの、いざ試合となると日ごろ鍛えた技と力を一杯発揮できたようでした。

会場にはエイツ、ヤーツと大きな掛け声が響きわたり、元氣よく剣を打ち合う幼稚園児や小学生の姿を見守る観衆の皆さんからも、子どもたちに負けないくらい大きな声が飛んでいました。

勝つて喜ぶ子も、負けた悔しさに泣いてしまった子も、大会が終わると出場できた充実感を味わうすがすがしい顔をしていました。

日本武道の神髄とは

会長の堀田満さんは「日本武道の

神髄は、決して勝敗に拘泥する競技主義を礼讃するものではありません。真実の自己(身体と魂の本然)に徹する厳しい修練を貫くのはそれがためです」と語り、今大会が盛況のうち無事終えることができたことについて、参加者・関係者の方々の協力に感謝されていました。参加した選手たちも、この大会で相互の交流を深められたものと思います。



「武の道」「武の心」「武の精神」をもって修行し、「明き、直き、浄き、建き、誠の人間」を形成するための事業を行い、日本の将来を支える青少年の健全育成に寄与することを目的に、平成6年4月設立。会員数910名

に楽しんでいただけたようです。

日本楽器の
何とも言えない音

「音色」に遊ばせてもらい、心がほっとしました。日本楽器は、音と音との間に流れている何とも言えない音がいろいろと想像させてくれますね」との聴衆の反応に、「日本楽器の良さを、多くの市民に伝えていく使命のようなものを強く感じるようになりました」と代表世話人の竹林章さん。「尺八に対するイメージが良くなり、和楽器への理解が深まったことと期待されます」と嬉しそうでした。

地歌箏曲と、ピアノとのコラボ

8月2日の第1ステージ「第7回箏と尺八で地歌箏曲を楽しむ会」では、尺八・箏・三絃の和楽器による演奏で全7曲。アメリカ人も演奏しましたので、尺八には国際的な広がりがあることに気付いた方もおられたことと思われます。

また、東日本大震災後のがれきの中から拾い上



文化・スポーツ活動
平成26年度上期助成団体
「文化部門」

尺八広場がいや(郡山市)
尺八広場がいや11周年記念ステージ

平成26年8月2日(土)・第1ステージ「創空間富や蔵」
平成26年10月25日(土)・第2ステージ「郡山公会堂」

げよみがえらせた箏を紹介し、演奏に使用したことから「復活の箏、復興の響き」としてマスコミでも取り上げられました。

10月25日の第2ステージは「尺八広場がいや」「尺八はピアノとともに」。伝統楽器・尺八とピアノとの共演により全7曲の演奏でした。尺八とピアノという組み合わせは、一般には異なる音楽という認識を抱く人が多いのですが、逆に関心を持たれた方も多かったです。初めて来られた方を含め、予想以上の来場者となりました。



「尺八とピアノは合うね」との感想も聞かれ、尺八とピアノとのコラボを気軽に

尺八の演奏技術の向上と尺八音楽の普及推進をはかることを目的として、平成16年3月に設立。会名は、野外音楽堂(開成山公園)で演奏していた時に市民や親子が足を止めて聴き入ってくれたことへの感動から「野外」を「がいや」とし、もっと多くの人々と楽しみたいという思いを「広場」に込めたもの。会員数10名。

「地域の活性化に貢献する文化活動」平成26年度助成団体

黒岩春日神社雅楽部 (福島市黒岩)

黒岩春日神社の御神楽の伝承

黒岩春日神社雅楽部は祭礼時の御神楽の奉奏(毎年10月)を中心に、折々の要請に応じて雅楽と稚児舞の披露を行っています。

黒岩地域には、生まれてからずっとここにいる方と引越して来た方とが住んでいますが、全ての人を受け入れるというのが地域の気質です。職業も居住年数も異なる部員同士が、分け隔てなく活動を行っています。

観衆と心通わせて

御神楽の奉奏と雅楽稚児舞を観た方々は、その素晴らしさに感じ入り、時には各会合の式典等に出演してほしいなどの要望も受けます。部員からも「神社の祭礼だけでなく、他からの出演依頼に答えるためにも楽曲の幅を増やそう」という意欲的な声が上がるとなりました。

代表の長谷川幸治部長は「町内13カ所を練り歩く御神輿渡御では中継所の都度御神楽を舞い、後半は足が棒のようになり練り歩くことが大変でした。しかし毎年その中継所でお供え物、お賽銭を持って待つておられるお年寄りの方の姿を見ると、『頑張つてやらなければ』と思います」。しかし「部員も高齢化が進んでおり、若手部員の確保も必要になっております」という課題にも直面しているとのことでした。



黒岩春日神社雅楽部は、古くから続く黒岩春日神社の御神楽と伝統芸能の継承活動をしています。舞の衣装が古くなり、修繕も不可能で新調が必要となっていたため、当財団が助成しました。

